



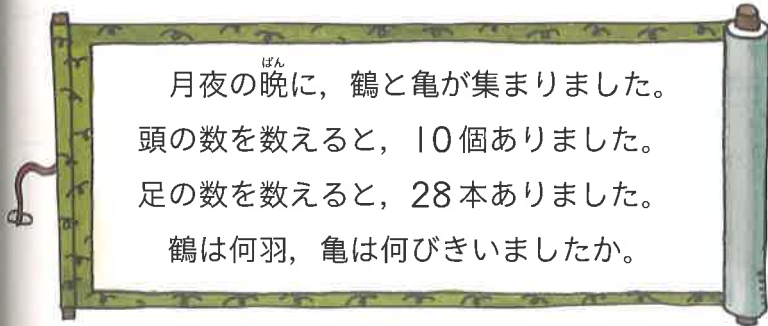
# 和算コース

和算は、江戸時代に日本で独自に発達した数学です。

分野によっては、西洋の数学に負けないくらい高度なものもありました。江戸時代には、たくさんの人々が和算の問題にちょう戦し、楽しんでいました。

みなさんも、和算の問題にちょう戦してみましよう。

## 1 つるかめざん 鶴亀算



- ① 全部鶴だとすると、足の数は何本かな。  
また、鶴が9羽、亀が1びきだとすると、足の数は何本かな。

鶴の数(羽)	10	9							
亀の数(ひき)	0	1							
足の数(本)									

- ② 亀が1びき増えると、足の数はどのように変わるかな。
- ③ 鶴と亀の数を求めよう。

江戸時代には、鶴の数を求める公式をつくり、和歌にした人もいました。

鶴の数 = 頭の数 × 2 - すべての足の数 ÷ 2

- ④ この公式を使って答えを求め、③で求めた答えと比べてみよう。

